

2023年4月20日

横浜市長 山中竹春 様

横浜市中区不老町3-12-9加瀬ビル201 703号

横浜保育問題協議会会長 辻村 久江

電話 045-663-8720

## 子どものために保育士配置の最低基準を上げること求める要望書

昨年は、保育園での事故・不適切保育などが社会的問題となりました。その背景として保育制度の遅れも指摘され、多くのマスコミでも保育士の配置基準をめぐって、報道が行われています。

政府は、こうした声を受け、異次元の少子化対策のたたき台の中に保育士の配置基準の改善について、ようやく明記するに至りましたが、その内容は財源も含めて具体化されていません。

75年もの間改善されていない4・5歳児の保育士配置の最低基準の改善はもとより、すべての年齢において子どもの発達支援を十分に行うには、保育士配置の最低基準は少なすぎます。

保育士配置の最低基準の改善は、子どもの発達支援においても、それを担う保育労働者の処遇改善にとっても、猶予のない課題となっています。

政府は、6月にまとめる所謂「骨太の方針」に、保育士配置と処遇改善を盛り込むとしています。今回の改善の内容が、単に公定価格上の配置基準の改善(一部報道における、現行の3歳児に対する加配方式)にとどまるのではなく、子どもの発達にとって必要な保育士配置の最低基準を改善につながることを、保育現場の保育者も保護者も強く求めています。

つきましては、保育士配置の最低基準を見直すよう、横浜市として政府に働きかけることを要望いたします。

以上